

IX 特色ある公民館活動

殿川ダムの景観再生をめざして

～（地域自慢の場所をめざして）～

苅田町 殿川クリーンクラブ 代表 守 由利子

- ①事業名 殿川ダムの景観再生
- ②事業の目的 昭和のさくらの復活をめざしたうえで地域の自慢の場所へ
- ③協力団体 福岡県・苅田町・苅田ライオンズクラブほか
- ④地域の概要 福岡県北東部、北九州市に隣接し、豊前海に面した町の東側はセメント産業や自動車産業など有数の工業地帯で、海上には「北九州空港」があります。活動場所の殿川ダムは工業用水確保のために作られたダムで町内22の工場や事業所に供給しています。近くには、木造薬師如来像が安置された天台宗宝蔵院相円寺や高城山などがあり、豊前海を一望できます。
- ⑤事業に至る経緯 殿川ダム完成（昭和33年）後、まもなくして植えられた桜がいつしか埋もれてしまい、そこに桜があったことさえ忘れ去られていった。地域のおばあさんが、桜がカズラにまかれ可哀そう！の一言から始まりました。平成20年2月に地域や、苅田まちづくりカレッジで学んだ友など数名で、どうせやるからには4月のさくらの開花に間に合わせようと、毎日のように頑張った結果、樹齢40年はたつと思われるさくら9本を出すことが出来、感動。まだまだ埋もれたさくらがあることもわかり、さくらの復活をめざし殿川クリーンクラブを発足、現在に至る。会員数25名と賛同者も増えました。
- ⑥プログラム作成の視点 手をかければ、元気を取り戻していく、樹木・草花たち。確実に変わっていった景観。かかわる方々とのふれあいで得られる満足感。訪れていただける方々に与えられる感動。つないでいくことの活動。
- ⑦事業の成果 訪れる人が増え、イベントができるまでの場所となった。一番の成果は、この活動に参加したことでの新しい出会いで人とのかかわりあいの楽しさ得たこと。また、手をかけただけ、きれいに変わっていく実感と満足感。

復活 埋もれた桜咲く広場を昔のように、そして、四季の花咲く広場に！

平成20年2月活動前の状態



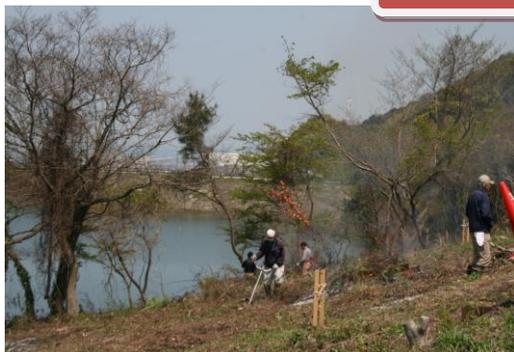
桜に巻き込んだカズラは枯れても外れません



元気になった桜は私たちに元気をくれます



地域や子供たちとの植樹会（21年から23年で200本以上）



作業風景（ダム湖水や海岸が見えるようになった）



手をかけたただけ変化していく景観

感動 イベントなど通じて元気になった桜を見ていただき、訪れた方の笑顔を見たくて



町のウォーキング大会
参加の方へお茶のサービス



桜まつりでの植樹イベントと
準備中の会員



つなぐ ダムから見た山側（西側）のすばらしい景観



⑧今後の課題 菟田町は工業の発展で、町の景観が大きく変わってしまった。しかし、ここには、ここしか見ることが出来ないすばらしい景観があります。美しい白の石灰岩山と緑いっぱいの山、一方では、海岸の工場群が見渡せる、美しい色のダム湖など自然と人工が調和した緑がたくさんあります。私達はこの一帯の魅力を高めることで、訪れる人々に感動を届けていきたいと考えています。

私達の活動が地域の活性化につながり、また、菟田町の「活力」として地域全体に波及できるように事業を継続する事が最も大切だと思っています。ただ、結成4年目ながら、活動資金の確保、クラブ会員の強化など、本事業を長期間維持する事の難しさを感じています。